【オンライン開催】近代日本のはやり歌を知るⅢ～はやり歌に見る近代化への風刺と受容

徳川幕府の世から明治政府による政治体制へと変化を遂げた明治期。庶民は政治体制の変化だけではなく、自らの生活を取り巻くさまざまな変化に驚き、喜び、時には不満を持ちつつも柔軟に対応していきました。そのような庶民の様子は、当時庶民の娯楽の殿堂であった寄席での芸能や音曲の内容からもうかがい知ることができます。

本講座では寄席音曲やはやり歌を中心に開国・政治制度・鉄道等の近代化の様々な側面から庶民の近代化への風刺や享受の姿勢を見ていくことで、芸能を評価する力を身につけていきたいと思います。また、第５回の講義では音曲師の柳家小春師をお迎えし、講義で扱った音曲を解説を交えながら実際に歌っていただきます。

【受講料】 １，９００円

【資料代】 なし

【時間・場所・定員】
- ●１０：３０～１２：００
- ●Zoom ミーティングによる開催
- ●定員３０名

【その他】
- ●タイトルが「近代日本のはやり歌を知るⅢ」となっていますが、Ⅰ、Ⅱとは内容的な連続はありません。この講義からの方でも問題なくご参加いただけます。
- ●講義中に受講者と名前が画面に映ることがあります。
- ●講座の録音、録画、画面キャプチャー（撮影・保存）を禁止しております。
- ●通信料等は受講者負担となります。

【講　師】
①～⑥非常勤講師　寺田　真由美
⑤　音曲師　柳家　小春

【開講日と内容】（全６回）

①１０月　６日（水）
導入：近代国家と芸能の関わり

②１０月１３日（水）
開国、明治維新と芸能

③１０月２０日（水）
政治・行政と芸能

④１０月２７日（水）
近代化の象徴－鉄道と芸能

⑤１１月１０日（水）
明治期のはやり歌を聴いてみよう

⑥１１月１７日（水）
まとめ：はやり歌を通して見る近代